

引越し荷物と研究用荷物の郵送は、それぞれ SAL 便と EMS 便とで送った。Web では着かなかったとか壊れたとか、悪い話ばかり目にするので直前まで結構不安だったが結果はいかに。

2004.12.16 更新

引越し荷物

SAL 便

引越し荷物は、事前に各方面に確認したところ、SAL 便で送るのが一般的なようなのでそれを利用。(ドイツ語では「ザル便」か)旅客機の空きスペースを利用する輸送で、航空便よりも安く、船便よりも早い、というのが謳い文句。出す時は郵便局から回収に来てくれるのも助かる。気になる到着状況はというと、だいたい10日のうちにパラパラと分割されて届くのが普通なようだ。今回は11月22日に第一便として4個のダンボール箱をフラット(flat, 住居)宛に送ったが、12月5日の到着日には既に部屋に入れておいてもらえた。

SAL 便の料金は重さによって決まり、大きくても軽い方が安い。また10個以上まとめて送ると割引がある。勿論国際便なので中身を英語で記述する必要がある。それぞれの重さも書く欄があるが、郵便局の人の説明によると、重さよりも価格の方が大事なようだ。しかし価格を高めにかくと関税をかけられるので、そこそこの値段を書くことがポイント。ただし、もし紛失などの事故に会った場合は保証はその価格までなので、どのくらいの値段を書くかはトレードオフ的。結局大事なものは送らないというのが結論(笑)。

宛名について

今回は1階に大家さんの両親が住んでいて、その2階だ、ということだったので「Makoto Kobayashi c/o 大家さん」みたいな書き方で送った。「Makoto Kobayashi bei 大家さん」がドイツ語表記ということのカミさんが知り合いから聞いてきたのだが、大学の秘書さんは「care ofの方がbetterね」と言っていた。

ダンボールについて

12月7日に送った荷物第2便が、14日に着いた。しかしこの荷物たち、かなり変形してしまっている。よく「税関で開けられた形跡」という表現があるが、これは「開いてしまって補修された形跡」だ。ベタベタと破れた所にテープが貼られている。それにしてもよく中身が出なかったものだ。これらのダンボールはつくば最大手のホームセンターで買ったものなのだが、実際のところ、「弱かった」といわざるを得ない。第1便の箱は、もともとキャットフードなどの重量物を運ぶ物だったこともあり、丈夫だったのだろうか。しかし見た目の厚さは変わらないのだ。運ばれ方なども当然影響するのだろうが、やはりホームセンターで買うよりも一旦使われた物でもよいので重量物用に作られた箱の方が良いのかもしれない。ただ、最近はダンボールを引越し用に譲ってくれない店が多い。店として禁止しているようなのだ。古紙業者が持っていくからなのだろうか。ちょっと理由が分からない。

研究用荷物

EMS 便

一方研究用の荷物は大学から自分の研究費で送ったが、こちらは予算的に余裕があったので航空便である EMS 便を使うことにした。価格は 10kg 前後のもの 3 つで約 5 万円弱。EMS も値段を書く欄があり、2 万円以上の物の場合追加保険制度がある。ただし、これも税関で引かかる可能性が高くなるので注意。

品名について

今回 1 つだけ PC とプリンタを入れた箱があり、その箱には「Used PC, Used Printer」と書いた。しかしこれが結局税関で引かかることになる。

税関受け取り顛末記

上記 SAL 便の第一便は無事についていたのだが、大学から大学へ送ったはずの EMS 便 3 つが、1 つだけしか届かない。しばらくして税関から手紙が SZS に届いた。どうやら出頭しなくてはならないらしい。最初は Mr.Klaus の車で取りに行こう、という予定だったのだが、あいにく予定した日には奥さんが車を使うことになっらしく、トラムで行かなくてはならなくなった。そこで Civil worker の Christoff 君と一緒に税関へ。行く場所は SWS と言うらしく、トラムとバスを乗り継いで行く。(後で調べると SWS は Speditions-GmbH 運送有限会社の名前のようなだった)そしてカウンターで送られてきた紙を見せる。結局 Used PC だ、ということで箱を開けて確認したらはい終わり。持ってっていいよ、と言う。うーん、最初から Used って書いてあるじゃん！しかし問題はもうひとつの箱の方。底の一边が破れて中が見えているのだ。ビニール紐がかけてあったからいいようなものの、紐がなかったら中身全部出てる勢いだ。写真は破れて補修した箱を運んでくれる Christoff 君。有難う。感謝感謝。ここからバスとトラムを乗り継いで大学へ持って帰った。ちなみに後ろのおどけたおじさんは関係ない。

[[カールスルーエ滞在記 TOP](#)] [[Home](#)]